

非接触前額部 IR 温度計

モデル IR200



前書き

モデル IR200 IR 温度計をご購入頂きありがとうございます。本温度計は単体をまとめてスキャンしたり個体の昇温をモニタリングしたりするのに適しています。本品は医療用温度計の代用にはなりません。高精度の体温測定が必要な際は必ず医療用温度計をご仕様ください。

考慮と警告



本製品を使用する前に全ての説明書を読む。



最も精度の高い結果の為に 73 から 82° F (23 から 27° C) の周囲（部屋）の温度で読取を行う。



肌が乾いていて毛髪が測定の妨げになっていないことを確かめる。



測定器を水につけてはいけない。



赤外線センサー・レンズに触れたり引っ掻き傷を付けたりしてはならない。



異常な温度は必ず医療用温度計を使って確かめる。



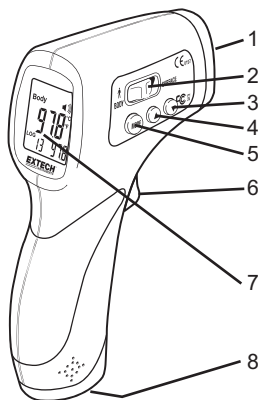
圧縮空気を優しく吹きかけてレンズ周りを掃除し、湿った布を使ってレンズを拭く。レンズを磨くのにいかなる溶剤も使ってはならない。

測定のしおり

1. 測定器が寒い又は暑い場所に保管されていた場合、測定前に少なくとも 20 分は常温に置く。
2. 病気の感染を防ぐ為に肌に直接接触を避ける。
3. 激しい運動の後は額の温度の読取は少なくとも 10 分は待つ。

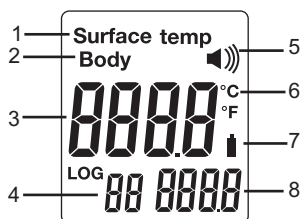
測定器の記述

1. IR センサー
2. 体 - 表面スイッチ
3. ▼ ボタン
4. ▲ ボタン
5. モード (MODE) ボタン
6. 測定トリガー
7. 液晶ディスプレイ
8. 電池収納箇所



ディスプレイ

1. 表面モード
2. 体モード
3. 温度ディスプレイ
4. 記憶場所
5. 警報機能
6. 温度単位
7. 低電池アイコン
8. 記録温度ディスプレイ



操作説明

体温測定

1. 89.6.0 から 108.5° F (32.0 から 42.5° C) の正確な測定をするには体 - 表面スイッチを体 “Body” に設定する。
2. 測定器を手で持ち測定する表面に向ける。測定距離は 2 から 6” (5 から 15cm)。
3. トリガーを押し測定器の電源を入れ温度を読み取る。温度の読取値が大きなディスプレイに表示され、記録されたデータの数字と数値が小さなディスプレイに表示される。
4. トリガーを離し測定器の電源が自動的に切れた後約 7 秒間読取値は保持される。1 秒程短くトリガーを押すと記録サンプルを見ることができる。
5. 温度が 109° F 又は 43° C を超える場合、ディスプレイに Hi と表示される。
温度が 86° F 又は 30° C を下回る場合、ディスプレイに Lo と表示される。

体温モード設定

1. 測定器の電源を切った状態でモード (MODE) ボタンを 1 度押し C/F の温度単位を設定する。温度単位が点滅する。▲又は▼ボタンを押し単位を変える。
2. 回目モード (MODE) ボタンを押すと温度限度の警報を設定できる。▲又は▼ボタンを押し値を変える。
3. 度目にモード (MODE) ボタンを押すと長期の校正ドリフト補正モードが起動する。モードを起動させると、前の温度の補正要因がディスプレイに表示される。補正するには、分かっている固定の音源を測定する。補正モードを起動し▲又は▼ボタンを押し補正值を変え読取値の開きを最小限にする。IR200 での測定が分かっている温度に一致するまで必要に応じて補正值を調整し続ける。
4. 度目にモード (MODE) ボタンを押すと警報ブザーが設定される。▲又は▼ボタンを押しオンからオフに切り替える。

表面温度測定

1. 大半の物の表面測定に使える広い温度範囲の測定には体 - 表面スイッチを表面 “Surface” に設定する。
2. 測定器を手で持ち測定する表面に向ける。
3. トリガーを押し測定器の電源を入れ温度を読み取る。温度の読取値が大きなディスプレイに表示され、記録されたデータの数字と数値が小さなディスプレイに表示される。
4. トリガーを離し測定器の電源が自動的に切れた後約 7 秒間読取値は保持される。1 秒程短くトリガーを押すと記録サンプルを見ることができる。
5. 温度が 140° F 又は 60° C を超える場合、ディスプレイに Hi と表示される。
温度が 32° F 又は 0° C を下回る場合、ディスプレイに Lo と表示される。

表面温度モード設定

1. 測定器の電源を切った状態でモード (MODE) ボタンを 1 度押し C/F の温度単位を設定する。温度単位が点滅する。▲又は▼ボタンを押し単位を変える。
2. 2 回目にモード (MODE) ボタンを押すと温度限度の警報を設定できる。▲又は▼ボタンを押し値を変える。
3. 3 度目にモード (MODE) ボタンを押すと警報ブザーが設定される。▲又は▼ボタンを押しオンからオフに切り替える。

データの記憶

記録したデータを再度見るには装置の電源が入っていない状態で▲と▼ボタンを両方押す。▲又は▼ボタンを使い記憶場所をスクロールする。記録したデータを消去するには“0”の記憶場所を選びモード (MODE) ボタンを押す。装置は 2 度ビーっと音を鳴らしデータが消去されたことを示す。

電池交換

ディスプレイに低電池表示が現れたら測定器の電池を交換する。電池収納箇所は持ち手の底面にある。ねじを外し蓋をスライドさせ収納箇所を開ける。2 本の単 3 電池を交換し電池収納箇所の蓋を閉める。



エンド・ユーザーとして全ての使用済み電池や蓄電器を返却する義務があり (EU の電池に関する条例)、家庭ゴミとして処分することは禁じられている！

使用済み電池／蓄電器は地域の収集所或いは電池／蓄電器を販売している所に引き渡すことができる！

処分：装置の寿命後は装置の処分にに関する規定に従い廃棄する。

IR 測定のしおり

1. 測定前に霜や油、汚れ等で覆われた表示をきれいにする。
2. 定する物の表面が強く反射する場合、測定前に表面にマスキングテープか黒の艶消し塗料をつける。表面温度を調整する為に塗料を塗ったりテープを貼ったりする時間を見越す。
3. ガラスなど透明な表面の測定は正確ではないかもしれない。
4. 蒸気や埃、煙等は測定を曖昧にする。
5. 測定器は自動的に狂いを周辺温度に相殺する。しかしながら測定器が大幅な変更を調整する場合は 30 分掛かることもある。

IR200 温度計の清掃に関する説明

IR200 非接触前額部 IR 温度計は無批判で再使用可能な医療機器 (RME) です。

使用前後には毎回装置のハウジングやレンズを磨き殺菌してください。装置を磨き殺菌するには本説明書をお読みください。

必要備品

イソプロピル・アルコール又は消毒液 (70%またはそれ以上のアルコール濃度) と糸くずの少ない柔らかい布か綿棒。

ハウジングの清掃

殺菌性の拭き取り製品は最低 55%のアルコールを含有で接触時間を 2 分とするのであればハウジングの清掃に使っても良い。

レンズの清掃

レンズの清掃にはアルコール濃度 70%のみ使用。

手順と注意点

1. 測定器のハウジングを清掃するには湿らせた綿棒か綿布、わずかにアルコールで湿らせた綿布で装置を丁寧に拭く。別の方法としては上の”必要備品”のセクションにあるように殺菌の拭き取り繊維を使う。
2. 清掃の際に過度のアルコールを使ってはならない；水分をボタンから染み込ませてはならない。
3. IR レンズを清掃するには 70%のイソプロピル・アルコール・ベースの溶剤でわずかに湿らせた綿棒を使う。レンズの清掃後使用前には最低 10 から 15 分間を乾かす。
4. 装置を液体につけてはならない、又は加圧雑菌器に入れたり強い溶剤や研磨剤を使用してはならない。
5. 清掃後使用前には最低 10 から 15 分間装置を乾かす。

	範囲	精度
体温	32.0 から 42.5 °C (89.6 から 108.5 °F)	±0.3 °C/0.5 °F
表面温度	0 から 60 °C (32.0 から 140 °F)	±0.8 °C/1.5 °F

放射率	0.95 固定
視野	D/S = 約 8:1 割合 (D = 距離; S = スポット或いは目標)
IR スペクトル感度	6 から 14 μm (波長)
ディスプレイ	機能表示付き、バックライト付き液晶ディスプレイ
応答時間	500ms
範囲超過表示	Hi 又は Lo
操作温度	0 °C から 50 °C (32 °F から 122 °F)
相対湿度	10% から 90%RH 操作: <80%RH 保管
保管温度	-20 から 60 °C (-4 から 140 °F)
電源	2 本の単 3 電池
自動電源オフ	(約) 7 秒
重量	177g (6.24oz.)
寸法	160 x 82 x 42mm (6.3 x 3.2 x 1.7")

著作権 © 2015 FLIR Systems, Inc.

製品そのもの或いはいかなる部分的な形でも無断複写・複製を禁じる。

ISO-9001 認定

www.extech.com